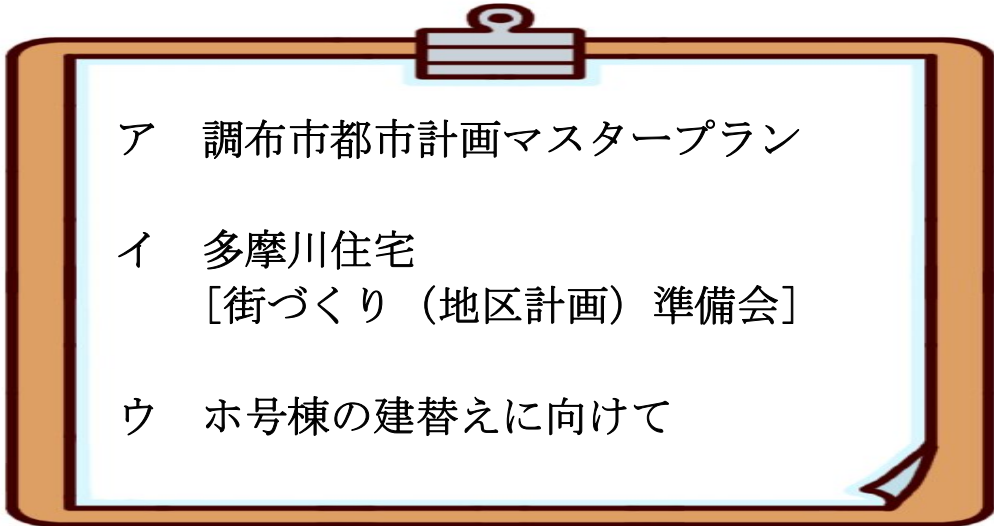


ホ号棟の建替え いよいよ具体的なプランができました！

- 
- ア 調布市都市計画マスタープラン
 - イ 多摩川住宅
[街づくり（地区計画）準備会]
 - ウ ホ号棟の建替えに向けて

多摩川住宅と市役所がこの三つの論点で調整をします。
皆様方の“参加”をお願いいたします。

全体の方で、この場面を乗り越えましょう!!

ホ号棟では「地域別街づくり方針の市民検討案イメージ」について、調布市全体へ向けてのアピールと染地地区への問題点を作り上げました。

京王線の地下化による南北の路線について、多摩川地区全体としても極めて大きな影響があると考えられます。

多摩川地区から国領駅へ、そして北部の街へと道路の寸断がなくなり、調布市全体に変化が予想されます。

また、「南部地区」を中心にして、対応、提案などいくつかの方向性も考えています。

エリア別の街づくり方針作成に向けて⇒染地地区

① 交通

- ア 国領駅の開通により、南北の交流が望まれる。
- イ 神代植物公園の緑や森と、多摩川の河川敷の緑や水とを結ぶ散策路が開通されます。

② 環境

- ア 大きな公園、広場をゾーンごとに確保し、スポーツ公園や防災公園の機能を兼ねる環境を求める。
- イ 多摩川と神代植物公園を「調布市が誇る」二大環境拠点とする。



③ 福祉

- ア 生涯学習センターなど文化交流、地域交流などができる施設がほしい。
- イ 大規模団地内に広報活動など、積極的に展開できるように「地域拠点」がほしい。
- ウ 高齢化の進展にともなう多世代住民、多世代同居なども考えていく。
- エ 車椅子対応なども含めて、バリアフリーを積極的にとり入れる。

④ 防災

- ア 大規模団地全体の防災システムなどが不足している。
- イ 災害時に対応する近隣避難場所（一次避難所）、備蓄倉庫、集会場などの転用可能な施設計画が必要である。

⑤ 住環境

- ア 自然を取り入れた安全な遊び場、屋外空間、広場、公園など屋外交流空間が近くにほしい。
- イ 高齢者や子どもにとって、防犯上安全な住環境、夜でも安心できる外灯などの整備を求める。

⑥ 景観

- ア コンクリートの塀をなくし、植栽や生垣による塀、人の気配が感じられる街並み景観が必要である。
- イ 調布市の貴重な環境資源である「多摩川」の環境価値を最大限活かし、「調布は多摩川にある」ということを訴える。

⑦ 地域活性

- ア コンビニエンスストアの必要性（宅急便、ATM、支払、チケット購入など）地域の利便性、生活サービスが総合的に得られる施設が必要である。
- イ 多様な世代が住みたくなる次世代型住民団地を積極的に採用し、SOHO住宅などの新時代に対応した「街づくり」を行い、新規住民を誘導する。

また、それぞれの項でこの記事に載っていない状況も含めて、いずれみなさんとの話し合いを進めていきたい。

さらに、ホ号棟は具体的にどのように今後の方針を考えていくのかを多摩川住宅全体の問題と併せて考えてみる。

部門別街づくり方針⇒多摩川住宅のありよう

前段の状況を「ホ号棟」で受けられるように考えたのが、次のようなシステムである。

① 交通

- ア 循環バスの導入
- イ ミニバスと幹線バスなどとの連携で、医療や福祉施設などとコミュニティーバスなどを導入する。
- ウ 多摩川から深大寺までの南北シンボルロードの整備。
- エ 広域からの多摩川来訪者へのパーク&ライドシステムを構築する。

② 環境

- ア 多摩川の水環境の整備と自然エネルギーの活用
- イ 都市型農園への実験的展開（他の地域）
- ウ 多摩川の有効活用、南部地域の目玉としての多摩川を活用した拠点軸の形成。

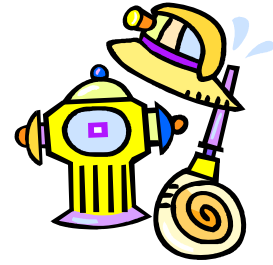


③ 福祉

- ア 慈恵医大などと連携したネットワーク
- イ デイサービス、子育て機関、一時預かりなどサービスの充実
- ウ 地域密着型の福祉総合サービスの整備。
- エ 多摩川の河川敷も活かし、ウェルネスセンターなどと連携して「未病」を防ぐ。

④ 防災

- ア 多摩川河川敷を活用した「広域避難場所」の整備
- イ 防災避難拠点となる防災広場の設置



⑤ 住環境

- ア 親水住宅を活かした 21 世紀の「集合住宅のプロトタイプ」を創出。
- イ 多様な世代構造による新しいコミュニティ、南部地域での広域コミュニティに対応できる施設やオープンスペースを確保。
- ウ 地域活動、NPO 活動、ボランティア活動などが醸成されるような住環境。

⑥ 景観

- ア 多摩川の景観を一体化した新たな景観の創造。
- イ 京王線の地下化後の地上空間活用で、良好な社会ストック、環境ストックとして将来へ継承。

⑦ 地域活性化

- ア 多摩川での親水性向上に向けた企画立案。
- イ 地元の大学、研究機関と連携した新たなライフスタイルの創造、社会実現による「時代先導型」の街づくりの展開

エリア別の実現方策の検討 多摩川住宅団地の問題点と解決策

① 多摩川住宅地ゾーン

- ・ 地区計画の策定により整備を推進
- ・ 一団地の都市計画の解除
- ・ 住宅市街地総合整備支援事業による多摩川河川敷との一体的整備。
- ・ 団地建替え事業の段階的推進。
- ・ 建築基準法 86 条の継承、見直し。



など、具体的な問題点がある。これらを克服して、多摩川住宅全体が願望するプランを考えていかなければならない。

なお、この「市民検討案」イメージは、ホ号棟がこれから先の具体的なものを先取りして打ち立てたものである。

他の号棟などと胸襟を開いて話し合いを続けていく環境にある。